

【資料 1】

倉敷市所蔵児島郡役所文書 37

「明九旅行届」

第十四番会議所」

伏見沙屋

初交古通貝商用之月け交
番川縣下渡法因と張紙中度
九月取二十四日様へ法紙の書候
沙屋ヤ上度々上

岡山縣下東部を九国を寄つて傷み因
児島郡味野町二百五十八番地あり候

明治九年三月二十四日

戸部仁彦



副區長上野節子殿

以前書きた紙に相違を承り
又書し仕度

伏見沙屋

日

海本露郎



備前国第十四番會議所

備前国第十四番會議所
下津井村十番屋敷より

高田波市郎

羽

日人義孝等少族以珍々月廿年二月
二十七日之
得替手官直々善定等江
所山山市月廿年
所山山市月廿年
所山山市月廿年

明治九年九月

右

土岐

市

15 14 13 12 11 10

9 8 7 6 5 4 3 2 1

副區長

上野八郎平殿

戸長

西尾初吉郎殿

口

野崎武吉郎殿

副戸長

岡貞四郎殿

口

山本義二郎殿

口

内田益吉郎殿

入湯原
 私共一羽成高上様御所へ今各他
 湯原入湯は度日数三千日積込此
 御所満し是者未だ少く是度は度
 生安奉新此上
 是之入込二番上区此迄即右局
 二百零九番是度此迄
 以迄平月
 海辺御所

入湯原
 私共一羽成高上様御所へ今各他
 湯原入湯は度日数三千日積込此
 御所満し是者未だ少く是度は度
 生安奉新此上
 是之入込二番上区此迄即右局
 二百零九番是度此迄
 以迄平月
 海辺御所

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 109
 11
 12
 13
 14

伏見沙屋
 初為番手持病之妻三月以茂
 岡山縣下三石作困滞來村長
 入湯之沙屋中交九日數四日
 後之民人亦從沙屋中上之
 日勝中番手持病之妻三月以茂
 岡山縣下三石作困滞來村長
 入湯之沙屋中交九日數四日
 後之民人亦從沙屋中上之
 明九年四月二十日
 農
 尾崎主平

岡山縣下三石作困滞來村長
 入湯之沙屋中交九日數四日
 後之民人亦從沙屋中上之

14
 13
 12
 11
 109
 8
 7
 6
 5
 4
 3
 2
 1

伏見沙屋
 初為番手持病之妻三月以茂
 岡山縣下三石作困滞來村長
 入湯之沙屋中交九日數四日
 後之民人亦從沙屋中上之
 明九年四月二十日
 農
 尾崎主平

岡山縣下三石作困滞來村長
 入湯之沙屋中交九日數四日
 後之民人亦從沙屋中上之

帰省届

新我路氏周路、帰省届を提出せ、療死に在
帰省届を提出せ、此等由申上る也

第...部

明治十年五月十九日

水野

信



副市長

上野八郎

右之通古...書付

副市長

鏑田幸時



副隊長上野八郎平次
 前奉行小堀
 右方信也
 本陣
 法正寺
 印

[illegible]